

沖縄市子どもの読書活動推進計画



令和4年3月
沖縄市教育委員会

はじめに

子ども達は、好奇心が強く、豊かな想像力の持ち主で、お話しや絵本が大好きです。子ども時代に絵本や本などの物語に親しむことは、豊かな感性を育み、想像力を広げていくことにつながります。

しかし、情報化社会の現代においては、テレビやゲームの他にも、SNS等の普及による情報通信手段の多様化によって、子どもを取り巻く読書環境が大きく変わってきており、子どもの「読書離れ」「活字離れ」の傾向が指摘されています。

こうした状況の中で、国においては平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を施行し、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう国を挙げて取り組むことになりました。

これを受け、沖縄県でも平成16年以降「沖縄県子どもの読書活動推進計画」を策定し、各市町村との連携・推進を図っております。

本市においても、乳幼児期におけるブックスタート事業の実施、小・中学校での朝の一斉読書活動、保護者や地域ボランティアの協力による本の読み聞かせや、市立図書館における子どもを対象とした事業の実施など、子どもの読書活動を推進するために様々な取組を展開しております。

沖縄市の子ども達が、読書の楽しさや良さを知り、あらゆる機会、あらゆる場所において、本に親しむことができるよう、家庭・地域・学校等で相互に連携を図りながら、子どもの読書意欲を喚起し、子どもが自主的に読書活動を行うことができる読書環境づくりに、より一層取り組んでまいります。

令和4年3月
沖縄市教育委員会
教育長 比嘉 良憲